

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation Research	
開講年度・学期	平成 28 年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科 5 年	
授業形態	実験	必修 or 選択	必修	
単位数	11	単位種類	履修単位	
担当教員	物質工学科全員	居室（もしくは所属）	電気・物質棟 3、4 階、専攻棟 5 階 物質工学実験棟 1、2 階	
電話	各教員内線電話番号	E-mail	各教員 E-Mail	
授業の到達目標	授業達成目標との対応			
		小山高専の 教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. 自ら研究の問題点を把握し、解決できること (理解度)	②, ③, ④, ⑥	A, B○, E○	d-2, d-3, d-4, e, f, g, h
	2. 専門分野の実験技術を習得できること (習熟度)	②, ③, ④, ⑥	A, B○, E○	d-2, d-3, d-4, e, f, g, h
	3. 自ら文献調査を行い、実験計画をたてること (計画性)	②, ③, ④, ⑥	A, B○, E○	d-2, d-3, d-4, e, f, g, h
	4. 研究をまとめ、文章作成ができること (論文)	②, ③, ④, ⑥	A, B○, E○	d-2, d-3, d-4, e, f, g, h
	5. 専門分野の英語論文を読み、内容を理解できること (英語文献)	②, ③, ④, ⑥	A, B○, E○	d-2, d-3, d-4, e, f, g, h
6. 研究成果をプレゼンテーションできること (発表)	②, ③, ④, ⑥	A, B○, E○	d-2, d-3, d-4, e, f, g, h	
<b>各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>				
達成目標 1-3、5: 日頃の研究態度、課題などの評価 達成目標 4: 卒業論文による評価 達成目標 6: 中間発表会(ポスター)と卒業研究発表会(口頭)による評価				
<b>評価方法</b>				
達成目標 1-5: 指導教員が評価する。達成目標 6: 主査(指導教員)と副査 2 名による審査で評価する。 評価の割合: 達成目標 1(10%)、達成目標 2(10%)、達成目標 3(10%)、達成目標 4(20%)、達成目標 5(10%) 達成目標 6(40%: 中間発表 20%、卒研発表 20%)				
<b>授業内容</b>				
4 年次後期の総合工学実験で配属された研究室において研究テーマ選択を行う。各指導教員の下、研究テーマに沿った文 献調査(英語文献を含む)、実験方法の検討、装置の組み立て、試料の準備、実験、結果のまとめを行う。最終的には、こ れらのことを学生自ら行うことかできるようにする。研究成果の発表は、中間発表会と卒業研究発表会にて、2 回行う。 中間発表は、ポスター形式で 9 月下旬～10 月初旬に行う。卒業研究発表は口頭発表形式で 1 月下旬～2 月初旬に行う。 研究成果は、卒業論文にまとめ、2 月末の指定日までに指導教員に提出する。				
キーワード	卒業論文、研究、英文読解			
教科書	特になし			
参考書	各指導教員が推薦する研究に必要な書籍			
<b>カリキュラム中の位置づけ</b>				
前年度までの関連科目	物質工学科全ての授業科目			
現学年の関連科目	物質工学科 5 学年全ての授業科目			
次年度以降の関連科目	なし			
<b>連絡事項</b>				
シラバス作成年月日 平成 28 年 2 月 29 日				
*シラバスは、修正される場合があります。				